

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	C型肝炎に対するDAA治療後の肝発がん予測におけるM2BPGiの有用性を検討する多施設共同観察研究 (B18-259)
当院の研究責任者 (所属・職位)	消化器内科 診療教授 日高央
他の研究機関および各施設の研究責任者	神奈川県立がんセンター 消化器内科 氏名 森本 学
本研究の概要・背景・目的	本研究では、肝線維化マーカーであるM2BPGiがHCC発がん予知・予測因子としての有用性を検討することを目的とします。
調査データ 該当期間	2014年1月1日より2018年12月31日までにDAAを投与された患者が対象となり、観察期間はDAA投与後10年となります。
対象となる患者さん	2014年1月1日から2018年12月31日までにDAAが投与され、下記を満たす患者さんです 1) HCVによる慢性肝疾患を有し、インターフェロン・フリーのDAAを用いて抗ウイルス療法を実施中、あるいは終了した患者さん。 2) 過去に肝発がん歴が無い、あるいは治療により根治が画像評価で確認され、これまでに再発歴がない患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2014年1月1日から2025年11月30日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 本研究は、北里大学病院の診療録などを閲覧して研究対象者の診療情報を収集し、肝発がんの発生の予測に有用と考えられるM2BPGi値の発がん予知に関わるCut Off値を計算します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ提供します。 提供元機関の名称及び機関長:北里大学病院・病院長 高相晶士
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、消化器内科学医局研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位:消化器内科 診療教授
担当者:日高央 (ヒダカ ヒサシ)
電話:042-778-8111

備考